



令和6年1月29日
杉並区立天沼中学校
東京都杉並区本天沼 3-10-20
☎ 3390-0161



良い人間関係づくり、良い集団づくり

～ 天沼中の五原則 ふたたび ～

(1月29日 朝会講話から一部抜粋)

校長 松尾 了

さて、今日は、天沼中学校の五原則についてのお話です。天沼中の五原則は

「あいさつする」「学習する」「運動する」「清掃する」「正装する」

ですよね。なぜ、この五原則があるのか。それは、いま私たちが生活しているこの天沼中学校がいつも過ごしやすく、明るく、ともに成長できる、素敵な学校にするためにあります。この五原則は、皆さんが卒業後、ある意味社会人として生活をするときに、身につけておかなければならない、とても大切なことも伝えています。

それは、この五原則には、「どの程度」「どうやって」という明確な基準がありません。と、いうより、基準のようなものをつくることができないのです。なぜ基準をつくることができないのか？それは、「どの程度」「どうやれば」達成できるのかを決めるのは皆さん自身と、その行動を受け取る相手や周囲の状況によって変わるものだからです。

例えば「あいさつする」について。自分では「相手が元気になるように、元気よくあいさつをした」つもりであっても、相手が「なんだよ…あんなに大きな声であいさつされたら、なんか嫌味なんじゃない？」と感じてしまったら、あいさつが達成できたとは言えません。逆の場合、例えば声に出してあいさつをすることが苦手で、会釈程度であいさつをしていて、自分では「きちんと元気にあいさつができなくて、歯がゆいな、申し訳ないな…」と、思っている、相手が「いつも清楚な感じで、声には出さなくても、丁寧にあいさつをしてくれているな～」と捉えている場合もあります。つまり、この五原則は、中身の「質」や「量」、そしてどれだけ自分が真剣に取り組むべきかという「心」、さらには相手がどのように捉えてくれるであろうか？相手の立場にたって考え、行動する必要がある、皆さん一人一人の「答えに向かって取り組む姿勢」が変わってくるものなのです。

では、どのようにすれば五原則の答え、すなわちゴールにたどり着くことができるのでしょうか？それは、自分が「五原則に対して納得」できるような「質」と「量」の行動を起こすこと、そして、自分以外の人に「なるほど」と納得させることができるよう「心を込めて」行動すること。自分と相手が納得できて、はじめて五原則の答えに近づくこととなるのではないのでしょうか？これは、五原則に限ったことではなく、良い人間関係づくり、良い集団づくりにも関わる大切なことです。

例えば、「からかい」や「いじり」といった行為がエスカレートしていくと、「いじめ」につながることはみんなが知っているはず。ある数人の人が嫌な思いをすることで成り立つ人間関係は果たして、「よい人間関係」なののでしょうか？「よい人間関係」の基盤になるもの。それは「自分のことと相手のことを考えて行動すること」です。つまりは、先ほどの五原則の答えに向かっていくための『質』と『量』を考えて自分が行動すること、そして、相手に『なるほど』と納得させることができるよう『心を込めて』行動すること他にありません。皆さんが、この五原則の答えを求めて、洗練された質と、人一倍の量と、相手に伝わる真心を込めて実行し、みんなが納得できる「五原則の答え」を見出すことができれば、自然と天沼中学校での生活を素敵なものにできるはず。ちなみに、2・3年生は「今日の話、どこかで聞いたことあるな？」と、思った人、いませんか？実は昨年度の10月にも同じような話をしています。良い人間関係、良い集団を自らつくるために、それだけ皆さんに知っておいてもらいたい、考えてもらいたい。ということだからこそ、同じようなお話をしました。

先生たちが行った12月の研修の様子です。先生たちも頑張っています。



3年生保育実習

天沼中学校では年末、年始に校長、副校長による3年生対象の面接を行っています。その中で、中学校での保育実習がとても思い出に残っているという3年生が何人もいました。家庭科の授業で行われた保育実習。みんな楽しそうに取り組んでいました。



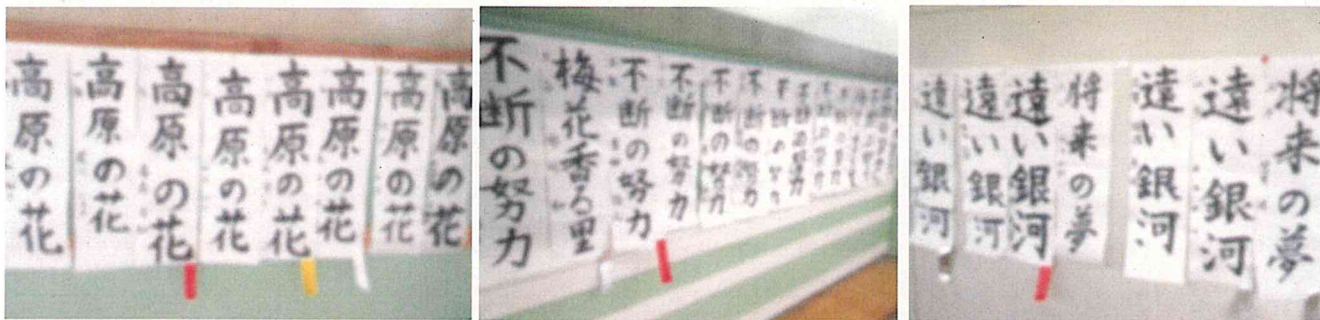
年末の大掃除



学期ごとに行われる大掃除。年末の大掃除は特に気持ちがこもっているように感じられました。大掃除の由来には諸説ありますが、「家と心を清める」ことが目的とされています。普段は掃除を行わない場所も皆で協力して行うことでさわやかな気持ちで新年を迎える準備ができました。

書初め展

12月に行われた放課後書初め教室や冬休みの宿題で取り組んだ書初め作品を校内にて展示しています。学年ごとの課題の文字にそれぞれの思いを乗せた書写作品が並び、見ているだけで広々とした大地に立っている気持ちになります。職員室前にも優秀作品が掲示されていますので是非ご覧ください。



1月15日～19日、杉並区書初め展が区役所2階で開催されました。本校からは右の6人が選ばれ、展示されました。

生徒朝会・中学生海外留学事業報告会

生徒会の中心が3年生から2年生に代わり、生徒朝会における生徒会長や各委員長からの報告も堂々としたものになってきました。天沼中学校の教育目標である「自主・自律・共生」の達成に向けた自治活動はこれからも生徒たち自身の手で取り組まれていきます。

また、同じく生徒朝会でされた中学生海外留学事業報告会では8月11日～20日にオーストラリアのウィロビー市に留学した生徒の発表が行われました。オーストラリアと日本の文化の違いや体験を通じて感じたことを発表してくれました。



1月11日に天沼小・沓掛小と連携して小中連携交流授業を行いました。

中学校 1 学年

小学6年生と中学1年生で行ったのは、「百人一首大会」。沓掛小、天沼小、天沼中で、グループを組んで対戦しました。年長者らしく、同時に手を出したら小学生に譲る姿や6年生に指示を出す姿に、この一年間の成長を感じることができました。

また、天沼中の生徒会役員会の企画、運営で行われた「小中連携 ～ミライ～」では、百人一首の交流後にグループでのディスカッションを行い、中学校生活について話し合いました。



中学校 2 学年

中学2年生は両小学校に訪問し、小学1年生から4年生の授業に入って補助をしました。すぐには積極的に声を掛けられない生徒もいたようですが、中学生にとってよい経験になりました。

授 業 内 容



| | |
|------------|----------|
| 天沼小授業 | 沓掛小授業 |
| 折り紙教室 | 昔遊び |
| 国語「百人一首」 | かるた遊び |
| 算数「小数」 | 算数「復習」 |
| 算数「メビウスの輪」 | 国語「百人一首」 |



中学 3 年生

中学3年生と小学5年生は「HUG 訓練」。1時間程度の中でしたので、ゲームの説明程度ではありましたが、天沼小、沓掛小が震災の避難所になったときにはどんなふうに避難者を誘導していけばいいのか、中3と小5で考え、話し合っていました。



天沼中オリジナル！

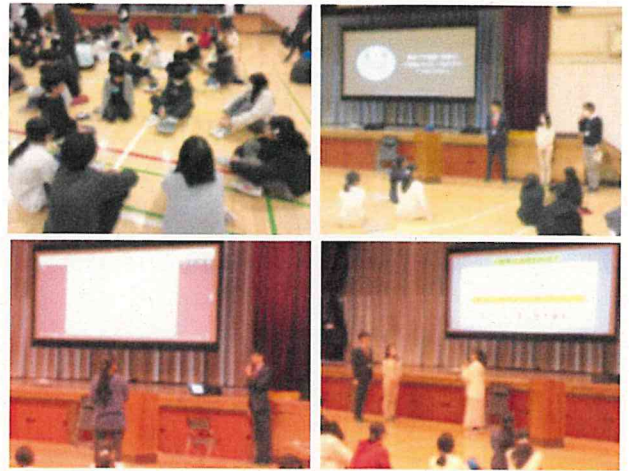
HUG 訓練
避難所運営ゲーム



情報モラル授業

1月18日にはJ:COM株式会社の方を講師に呼んで情報モラル教室を全校で行いました。

今年の情報モラル授業は1、2、3年生の縦割り班をつくり、活動を行いました。中学生が加害者になってしまった事例や、注意して利用していたのに住所が特定され、被害者になってしまった事例などについて解説をしていただきながら、SNS利用者の心情について話し合い、適切な利用の仕方について学びました。



学校からのお知らせ

◎第20回すぎなみ本の帯アイデア賞 受賞者

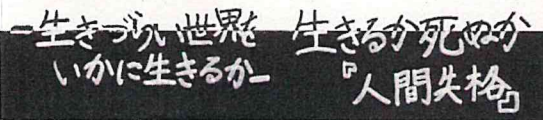


(中1)

デザインの力がすごい!! 文字の並びや書体の選択、イラストの配置など、全体のバランスを最後までやり抜いているので、完成度が高い。しかも、それを手作業でやっているの、職人肌でもあるんだなあと感じた。
(評:はらべこめがね)



ぼくらの七日間戦争
宗田理/著
ポプラ社/発行



人間失格
太宰治/著
集英社/発行



(中1)

「生きづらい世界をいかに生きるか」という時代をとらえたコピーの鋭さが心に刺さります。帯は白と黒の2枚の紙を重ねたもの。微妙に上下がずれて見える「違和感」が「生きづらさ」を表現しているように思えます。アイデアが光り、完成度の高い作品です。太宰治の代表作を今だから読んで欲しいという鈴木さんの想いを受け止めました。(評:松塚)



◎1月20日(土)

- ・杉並区中学生レスキュー隊防災体験学習施設見学ツアー参加
- ・天沼小、沓掛小参加の「こども英語村」ボランティア参加
- ・杉並区アンサンブルコンテスト 吹奏楽部参加

休日にも関わらず様々な行事に天中生たちは参加しています。これらの様子はまた2月号でお伝えします。

天中CSコーナー

「アンケート調査へのご協力をありがとうございました!!」

新年となりました。皆さまの所に、新『メビウス』(No.15)が届きましたでしょうか。

先月末、お忙しいときに、CS(天沼中学校コミュニティ・スクール)からのアンケート調査へのご協力をありがとうございました。いま、その調査結果をまとめる作業をしております。後日、調査結果をこの『メビウス』でお返ししたいと思います。自由記述には、質問項目以外のご意見等が記されています。それを生かしながら、今後の活動を進めていきたいと思ひます。